

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	利用者の希望は多様であるが、外出の機会が増えるように企画を抽出し、実現できるように取り組むことが課題である。	四季折々に外出を企画することで、四季を肌で感じていただく。また、利用者の希望が実現できるようにする。	四季を感じられる外出の企画を行ない、入居者の体調など考慮しながら、外食や近隣の温泉施設の利用なども計画・実現できるよう、職員だけでなく、家族や地域の人々に働きかける。	1 2ヶ月
2	54	利用者によって居室内に調度品がなく居心地良く過ごせる居室の配慮が必要である。	利用者が居心地良く過ごせる、居室の配慮を行なう。	調度品や写真等を配置し、利用者が居心地良く過ごせる居室作りを実現できるよう、職員と利用者で行ないながら、家族への働きかけを行なう。	1 2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。